

令和8年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(全国推進事業)に係る畜産クラスター情報交換会の開催について

公益社団法人中央畜産会では、全国の畜産クラスター協議会関係者を参集して別紙「令和8年度畜産クラスター情報交換会の実施について」のとおりZ o o mを活用したハイブリッド方式の情報交換会を開催します。

開催日時 令和8年9月18日(金) 10:00～17:00

場所：御茶ノ水トライエッジカンファレンス（J R御茶ノ水駅周辺の会議室）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目2－5

御茶ノ水NKビル トライエッジ御茶ノ水11階

申込期限 令和8年8月24日（月）

参加をご希望される方は、別紙「令和8年度畜産クラスター情報交換会の実施について」を参照の上、以下に必要事項を記入・作成し、直接、公益社団法人中央畜産会あて（shien@sec.lin.gr.jp）にお申込みください。

- 1 （別紙様式第1号）畜産クラスター情報交換会申込書
- 2 （別紙様式第4号）畜産クラスター情報交換会旅行行程書
（リアル参加希望の場合）
- 3 （別添）報告（プレゼン）資料①と②
- 4 貴畜産クラスター協議会の概要図（ポンチ絵）

本件に関するお問い合わせ先
経営支援部（支援・調査）
中胡（なかえびす）
TEL：03-6206-0843
FAX：03-5289-0890
E-mail：shien@sec.lin.gr.jp

(別紙)

令和8年度畜産クラスター情報交換会の実施について【開催までの概要】

1. 受講案内（中央畜産会）

（対象者と募集人数）

対象者：以下の①又は②と、③の要件を満たす者

① 原則として令和7年度の情報交換会に参加していない畜産クラスター協議会の事務局及び取組主体

② 都道府県畜産主務課及び道府県畜産協会の畜産クラスター事業担当者

③ 対面出席されない場合は、Z o o m環境に対応できる者

募集人数：最大15名程度（先着順、定員になり次第締め切ります）

原則各県2名以内（原則1協議会1名の参加）

2. 受講申込（受講希望者） 【締切り8月24日（月）】

受講申込書（別添様式第1号）

3. 受講決定（中央畜産会） 【9月第1週ごろ】

※受講申込受付後に、受講者決定。

4. 各受講者のプレゼン資料作成・提出（受講者：別添）【締切り9月4日（金）】

【1枚目】報告（プレゼン）資料①（目標、重点的に取組んでいる内容、仕組み・体制）

【2枚目】報告（プレゼン）資料②（現在の目標達成度（実績・成果）及び解決すべき課題）

【3枚目】畜産クラスター協議会の概要図（ポンチ絵）

5. Z o o mを活用したハイブリッド方式の情報交換会の開催

※受講者、コメンテーターによるディスカッションを中心とした情報交換会（ハイブリッド方式）。

今年度は、リアル出席を希望する者（先着順で15名程度）を募集します。実際に講師と対面でディスカッションを希望される者は申込ください（別紙様式第4号）。なお、これに係る旅費等は本事業で負担します。

日時：令和8年9月18日（金）10：00～17：00

場所：御茶ノ水トライエッジカンファレンス（J R御茶ノ水駅周辺の会議室）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目2-5

御茶ノ水NKビル トライエッジ御茶ノ水11階

受講者：最大15名程度

司会進行：事務局

コメンテーター：畜産クラスターコーディネーター養成研修講師

(株)伊東ビジネスプランニング 代表取締役 伊東 祐孝 氏

山崎農業経済研究所 所長 山崎 政行 氏

元農研機構 生研支援センター 研究開発監 土肥 宏志 氏

当日のスケジュール（予定）

【Zoom招待】9:30～10:00（30分）

第1部 受講者の報告（プレゼン） 10:00～12:30（150分）

※ 途中、15分程度の休憩

畜産クラスター協議会の取組内容について、事前に提出された報告（プレゼン）資料①と②（別添1）および協議会が作成する畜産クラスター計画に基づく概念図（ポンチ絵）（別添2）により各受講者が報告（プレゼン）し、他の受講者・コメンテーターから質問・意見を受け、協議会の概要、取組の進捗状況、現在抱えている課題等の情報共有を図る。

第1部での情報交換の主な内容は以下のとおり。

- ① 畜産クラスター協議会の目標について
- ② 目標達成に向け、最も重点的に取組んでいる内容について
- ③ 目標達成度（実態・成果）を把握するための仕組み・体制について
- ④ 現在の目標達成度（成果）及び目標達成に向けて解決すべき課題点について

休憩 12:30～13:30（60分）

第2部 分科会（グループ）ディスカッション 13:30～15:00（90分）

第1部での情報交換の内容から、いくつかの分科会（グループ）を設定し意見交換を実施する。例えば、以下のとおり。

- ① 新規就農、担い手育成、労働負担の軽減グループ
- ② 飼養規模の拡大、飼養管理の改善グループ
- ③ 自給飼料利用の拡大グループ

休憩 15:00～15:15（15分）

第3部 全体討論 15:15～17:00 (105分)

共通テーマは、「**外部組織（コントラクター、TMR センター、キャトルセンターなど）の活用について**」。

第2部で行った分科会（グループ）での意見交換の内容を代表が発表し、全体討論行う。

全体討論は、コメンテーターが進行しコーディネートする。

※ Zoomによる撮影と議事録音（事務局）

※ 情報交換会の記録として報告書用の議事メモ作成（事務局）

6. 修了レポートの提出（情報交換会終了の2週間後まで）（受講者）

令和8年8月24日(月)締切

令和8年度畜産クラスター情報交換会 受講申込書

提出日： 令和 年 月 日

公益社団法人 中央畜産会
経営支援部（支援・調査）あて

団体名：
代表者：

研修の種別	令和8年度畜産クラスター情報交換会				
研修期間	令和8年9月18日（金） 10：00 ～ 17：00				
	リアル参加を希望の場合は、「備考」欄にその旨を記載し、別紙様式第4号を提出してください。 事情によりZoom参加を希望する場合は、「備考」欄にその旨と事情（具体的に）を記載し、Zoom招待メールアドレスと携帯電話番号を記入してください。				
フリガナ 氏 名		性別	男・女	年齢	歳
所属協議会名					
実勤務先等					
役職					
勤務先住所等	〒 TEL： FAX： E-mail： @				
書類送付先 (上記住所と異なる 場合のみ記載)	〒 TEL： FAX： E-mail： @				
Z o o m招待 メールアドレス	E-mail： @		中央畜産会からのZ o o m招待メールを送る先のメールアドレスを記入		
携帯電話番号			情報交換会当日連絡のつく携帯電話の番号		
備 考					

令和8年度畜産クラスター情報交換会 旅行行程書

令和 年 月 日

研修の種別	令和8年度畜産クラスター情報交換会						
研修期間	令和8年9月18日（金） 10：00 ～ 17：00						
研修会場	御茶ノ水トライエッジカンファレンス						
所属協議会名				氏 名			
実勤務先等							
勤務先等住所	〒						
旅行期間	令和 年 月 日		～ 令和 年 月 日		泊 日		
日 程	勤務先の 最寄駅(空港)等	利用交通機関			勤務先の 最寄駅(空港)等	宿泊 有無	摘 要 (「その他」の内容等)
		鉄道	航空機	その他			
1日目(前泊が必要な場合)							
2日目	研修日						
3日目(後泊が必要な場合)							
(宿泊不要の方のみ) 宿泊をしない理由							

- (1) 本研修に参加するための往復の鉄路・空路、ホテル宿泊につきましては、本行程書を参考に本会旅費規定に基づき旅費計算をし、本会を通じて(株)JTBにより手配します。研修1週間前までに、(株)JTBからJR券等を発送します。なお、これ以外の行程、宿泊施設等を利用した場合は、自費（自己負担）となります。
- (2) 空路を利用した場合は、研修終了後、直ちに航空券の半券又はそれに代わるもの（便名、日時、搭乗者氏名が明記されているもの）を提出してください。提出がない場合は、航空券の代金を返納していただく場合があります。
- (3) ホテルに宿泊した場合は、宿泊の有無を（株）JTBが確認します。宿泊を確認できない場合は、ホテル宿泊代金を返納していただきます。
- (4) やむを得ない事情により研修参加を取りやめる場合には、中央畜産会担当者に連絡してください。また、その際にはキャンセル料をお支払いいただく場合があります。
- (5) 経路（特に地方のバス等）によっては、(株)JTBで手配できない場合があります。その場合は、その部分は対象外となりますので、ご了承をお願いします。

備 考	
-----	--

協議会名：_____

氏名 _____

令和8年度畜産クラスター情報交換会に係る報告（プレゼン）資料①

畜産クラスター情報交換会で使用する資料としますので、事前にご記入のうえ、令和8年9月4日（金）までにメールもしくはFAXにてご提出ください。

記入方法については、作文形式でも、箇条書き形式でも構いませんが、各参加者の報告（プレゼン）資料ですので、なるべく具体的に列挙してください。

=====以下、事前課題レポート=====

- 1 以下の選択肢より協議会として取り組んでいる内容すべてに○印をつけ、最も重点的に取り組んでいる内容について具体的に書いてください。

《選択肢》

①新規就農の確保 ②担い手の育成 ③労働負担の軽減 ④飼養規模の拡大、飼養管理の改善 ⑤自給飼料利用の拡大 ⑥畜産環境問題への対応

《最も重点的に取り組んでいる内容》 番号：_____

- 2 あなたが所属している畜産クラスター協議会の目標について書いてください。

- 3 目標達成に向け、最も重点的に取り組んでいる内容を書いてください。

- 4 目標達成度（実態・成果）を把握するための仕組み・体制を書いてください。

- 5 現在の目標達成度（成果）及び目標達成に向けて解決すべき課題を書いてください。

協議会等名：_____
氏名：_____

令和8年度畜産クラスター情報交換会に係る報告（プレゼン）資料②

畜産クラスター情報交換会で使用する資料としますので、下記設問を【記入例】を参考にご記入の上、令和8年9月4日（金）までに、メールもしくはFAXにてご提出ください。各参加者の報告（プレゼン）資料とします。
記入方法については、「飼養頭数」「飼料用米栽培面積」等、重点的に取り組んでいる内容を3つ選び、具体的に記載してください。

取組内容 （目標項目）	起点となる値	現状値	目標値	自己評価	要因分析・課題
	H 年度	R 年 月	R 年度		

協議会等名：

氏名：

【記入例】

取組内容 (目標項目)	起点となる値	現状値	目標値	自己評価	要因分析・課題
	H30 年度	R5年 3月	R7年度		
子牛販売頭数の拡大	420 頭	450 頭	600 頭	目標達成が困難な状況となっており、目標設定の見直しが必要である。	高齢化による廃業が目標設定当初の想定より著しく多く、販売頭数が減少した。しかし、子牛価格が高騰しているため、販売額は拡大した。
WCS の作付面積の増加	45ha	47ha	50ha	1 年に 1ha 程度の生産面積の増大を計画しており、2 年目までは順調に拡大している。	耕種農家の協力もあり、作付面積の拡大につながったが、天候不順（長雨）の影響があり、収穫量が昨年度より 10%減少した。
肥育センターの利用頭数の増加	50 頭	70 頭	100 頭	取組は順調に進んでおり、目標達成が可能。	

【取組内容（目標項目）について】

取組内容（目標項目）は、次のような具体的な内容の中から適宜選択の上、記載してください。
例)

- ①労働時間の削減、②飼養頭数の増大、③生乳生産量の拡大、④性判別受精卵（精液）の使用数の増加
⑤堆肥センターへの搬入量の増加、⑥堆肥販売量の増加 など

(ポンチ絵:参考例)

真庭市畜産振興クラスター協議会

H29. 6. 22設立
(R2. 6. 23計画更新)

意欲ある中心的経営体の飼養規模の拡大・自給飼料の拡大・担い手の育成を目的に、真庭市内の関係機関と連携した支援体制を構築し、収益性の向上を目指す。

現 状と課題

- 【酪農】乳用牛からの和牛生産の増、初妊牛の高騰
→乳用後継牛の減少、生乳生産量の減
- 【肉用牛】高齢化→子牛頭数の減

未利用田畑の面積は減少傾向。但し、地域差あり。農家の自給飼料確保の要望は多。

- 【酪農】
10年後、担い手への事業承継が必須。
- 【肉用牛】
高齢化、担い手不足。

対策しなければ

- 生産基盤の弱体化により、頭数等の著しい減少が懸念。
- 【酪農】生乳生産量の更なる減。
- 【肉用牛】和牛子牛市場の開設へも影響。

特定地域の農地の荒廃が懸念。これ以上の自給飼料の確保が困難。

- 【酪農】
10年先、急激な生産基盤の弱体化
- 【肉用牛】
農家の減、出荷頭数の減→子牛価格の低下が懸念。

効 果

- ・飼養規模拡大・改善
→生乳生産量の増加
後継牛の確保
労働負担の軽減
- ・自給飼料拡大
→自給飼料の利用向上
- ・担い手の育成
→雇用の確保

構成員 取組内容

構成員: 12団体

蒜酪

- ・組合員に対する総合支援
- ・計画に係る助言、指導
- ・飼養管理指導
- ・牛乳・乳製品、食肉の製造、販売

蒜山ジャージー農協

- ・組合員に対する総合支援
- ・計画に係る助言、指導
- ・飼養管理技術指導
- ・生乳販売

蒜山農業公社

- ・自給飼料の収穫・調製
- ・堆肥センターの運営

蒜山イキイキ楽酪協議会

- ・ジャージー牛等の観光資源PRの支援
- ・ジャージー製品のPRの支援

酪農大学校

- ・担い手の育成

蒜山家畜診療所

- ・飼養管理技術指導
- ・疾病治療、指導

真庭家保

- ・飼養衛生管理指導
- ・生産指導

美作県民局

- ・クラスター関連事業の指導
- ・計画に係る助言、指導
- ・耕畜連携、自給飼料に関する支援

JA晴れの国岡山 (真庭・びほく)

- ・組合員に対する総合支援
- ・飼養管理技術、経営の指導
- ・耕畜連携に関する支援

真庭市

- ・事務局
- ・計画に係る助言、指導
- ・耕畜連携に関する支援

おか酪

- ・組合員に対する総合支援
- ・計画に係る助言、指導
- ・飼養管理技術、経営の指導
- ・耕畜連携に関する支援

意欲ある中心的経営体への支援

事業実施内容

- ・施設整備
事業実施者: N牧場
実施内容: 牛舎、堆肥舎等の整備
- ・機械導入
事業実施者: 13農場
実施内容: 飼料収穫・調整機械等導入
- ・生産基盤拡大
事業実施者: 2農場
実施内容: 繁殖雌牛の導入